

祭りでは福島を盛り上げる！

福島わらじまつり実行委員会 座組局長

齋藤 嘉紀 さんに聞きました！



▼ わらじまつりに  
関わるようになった  
きっかけは？

平成21年から青年  
会議所に入会したこ  
とがきっかけでした。  
子どもの頃から地域  
のお祭りに親しむこ  
とが多く、お祭りが  
好きだったので、市  
民の皆さんがわらじ

▼ 活動内容は？

実行委員会の中には4つの  
座組というグループがありま  
す。踊りを担当する「舞座組」。  
太鼓を担当する「福響座組」。  
大わらじを担当する「大わらじ  
座組」。広報を担当する「広報  
座組」。私は、その各座組の座  
長を取りまとめ、調整する役  
目を担っています。

実行委員会そのものは、青  
年団体に所属する方々で組織  
されています。わらじまつり  
の企画、運営、会場警備など  
を行う、まさに実働部隊といっ  
たところです。

▼ 今年のわらじまつりにか  
ける思いは？

令和元年にわらじまつりを  
リニューアルしました。その  
後、コロナ禍となったことで、  
新しいわらじまつりの普及が  
止まってしまいました。今年  
はいかに新しいわらじまつり  
を普及させるかが重要だと思  
っています。感染症対策など、  
さまざまな課題がありますが、  
皆さんが楽しめるように取り組  
むと思っています。

んでいきます。

▼ これからのわらじまつり  
への展望は？

リニューアルの改革の1つ  
として、多様性のあるお祭り  
を掲げていました。女性も一  
緒にわらじを担ぐ。外国の方  
も障がいがある方も一緒に太  
鼓に合わせて踊るといった、  
性別、国籍、障がいの有無な  
どにかかわらず全ての人が楽  
しめるお祭りを目指していき  
たいと思っています。



▲5月に秋田市で開催された東北絆まつりでのパレード

最新情報は公式ホーム  
ページをご覧ください。



▼ 各種動画コン  
텐츠配信中

We Love  
ふくしま!

第49回  
「自由」

エアレース・パイロット室屋義  
秀さんの戦いが再び始まります。  
本人にとっては過酷なレースな  
がら、大空の舞は、まさに「自由  
を体現しているように感じます。

私も「自由」に憧れをもってい  
ました。高校入試で、自分が好  
きな言葉についてまとめよ、と  
の小論文が出題され、「自由」を  
取り上げました。花々を飛び回  
る蝶のように、自らの意のまま  
に動き、それでいて自然の中で  
調和するような「自由」が好きだ  
と書いたように記憶しています。  
長いコロナ禍で、ようやく行  
動制限が緩和されてきました。  
まだ気持ちがついていけないと  
いう方も多いと思いますが、辛  
抱してきただけに、自由の広が  
りが心地よく感じるのではない  
でしょうか。仲間と外で飲む  
ビールは何とおいしいことか！  
言論統制の厳しい中国でさえ  
も、2カ月も続いた厳しいロッ  
クダウンには不満が表面化し、  
解除されたときには市民のうれ  
しそうな表情がテレビ画面いっ  
ぱいに広がっていました。自由  
は、私たち人間にとって普遍的  
に尊いものなのです。  
しかし、自由には、責任が伴  
うことを忘れてはなりません。



福島市長  
木幡 浩



▲室屋さんが道の駅ふくしま上空に描いたニコちゃんマーク

自由の濫用は、無秩序と混乱を  
招くだけ。基本的ルールを守り  
ながら、みんなが自由を享受で  
きるようにすることが必要です。  
日本国憲法第12条は、「この憲  
法が国民に保障する自由及び権  
利は、国民の不断の努力によつ  
て、これを保持しなければなら  
ない。又、国民は、これを濫用  
してはならないのであって、常  
に公共の福祉のためにこれを利  
用する責任を負う」とあります。  
今、コロナ禍での自由が広が  
りつつあります。しかし、決し  
てコロナから解放されたわけ  
ではありません。改めて基本的対  
策を守ることの大切さを確認し、  
それを徹底しながら、自由を長  
く、そして広く伸ばしていきたい  
と思います。

そして、責任ある自由の先に、  
室屋さんのように大きな笑顔  
を描いていきたいものです。